

ニッ森山頂

青森県と秋田県の境にあるこの 1,086 メートルの峰は、世界遺産白神山地の核心地域を見下ろしている。ニッ森の北東には、人の手が加えられていない白神山地の中心地域があり、そこにはブナの原生林が横たわっている。人間の影響をほぼ全く受けていない 8,000 年の生態系である。

ニッ森の頂上からは、東に小岳（1,042 m）および藤里駒ヶ岳（1,158 m）が見える。また北西には、白神岳（1,232 m）およびこの地域の最高峰である向白神岳（1,243 m）が見える。晴れた日には視界が広がり、西には日本海、北東には岩木山（1,625 m）の独特の円錐型をした山まで見渡すことができる。山頂付近の植生には、ダケカンバ、チシマザサ、ミズナラの高山型であるミヤマナラなどがある。